

ゲームで遊んで環境保護

ポイント集め植樹に一役



ゴミの分別など環境問題に関連するゲームを楽しめる

携帯電話サイト運営のライブウェア(東京・新宿、中村俊一社長)は十二月下旬、環境をテーマにした無料のゲームサイトを開設する。利用者はゲームで得られるポイントを集めると、植樹活動に寄付できる。同社が利用者に代わり、広告収入の一部を環境保護団体に贈る仕組みだ。他サイトとの違いを打ち出し、環境保護に熱心な利用者の獲得や企業の広告出稿を目指す。

ライブウェア、携帯向けサイト

広告収入の一部寄付

サイト名は「エコゲーフォレスト」。ゲームは

ゴミの分別や照明の消灯、ガーデニングなど香エネや環境保護をテーマにした五種類で、遊ぶと水をモチーフにしたポイント「しずく」を受け取る。五〇ポイント集めると植樹に参加できる。

同社はゲーム内にバナー広告を掲載し、広告収入の数を植樹費用として寄付する。まず特定非営利活動法人(NPO法人)「地球と未来の環境基金」(東京・千代田)の活動を支援し、植樹場所は国内三方所から選べるようにする。

利用者がゲームで遊ぶほど広告の閲覧回数が増加。広告料金が上がり、寄付額も増える。

動物を横したアバター(ネット上の分身)を使

らソーシャル・ネットワーク・キング・サーブिस(SNS)機能も設ける。利用者がサイトを利用するたびに、同社が誕生日や性別に応じて他の利用者を四人紹介する。それぞれ羊やライオンなど動物のアバターに扮(ふん)し、森で友達を見つけたらポイントを受け取る。メールはアバター同士でやりとりし、知らない

利用者と直接メール交換することに抵抗を感じる人に配慮する。当面は三十万人の会員獲得を目指す。広告も企業の環境活動報告など環境に関連した内容を考えている。ライブウェアはゲームサイトの運営が主力。二〇〇八年三月期は売上高九億円、純利益二億円を見込んでいる。